

早稲田六奪  
應援部

# 応援部

■ 1946年(昭和21年)公認

部員数  
199名



部長  
前田 清司  
スポーツ科学学術院  
教授

新しい挑戦に直面した時、「でも…」と言ってしまうことがあります。この言葉の背後には、過去の失敗や恐れが影響していて、行動をためらわせる原因となっているのかもしれない。[でも…]には強力な負の力があり、口にするたびにできない理由を引き寄せ、前進を妨げます。そこで、発想を転換して[でも…]を[では! ]に変えてみてはどうでしょうか。[では! ]には前向きなエネルギーが宿り、行動を促進させる力があります。早稲田大学の「進取の精神」にも通じるように、重要なのは「できない理由」を探ることではなく、「どうすればできるか」を考えることです。これからの人生において、「では! 」の精神を大切に、前向きに挑戦し続けてください。



リーダーコーチ  
開 沼 伸 哉

今年度は私自身、コーチとしての最終年度であり、現役時代を含めると8年間、応援部の活動に身を置かせて頂きました。二十近く前のことですが、現役時代先輩OBから「応援部は人間道場」という話を伺いました。当時は自身が当事者であり、その言葉の意味を十分に理解できていなかったと思います。しかし、コーチとなり、現役部員の予想を遙かに上回る成長に触れ、「人間道場」という言葉の意味を深く理解できました。執行委員の皆さん、苦勞も多かったと思いますが、応援部を通じて、人前に立ち、組織をまとめる、人を動かすという貴重な経験を積まれました。卒部後はその経験を大いに活かし、各々の舞台上で更なるご活躍を期待しています。



吹奏楽団 コーチ  
坂 元 芳 匡

応援部の活動、本当にお疲れ様でした。コロナ禍を経て早稲田に入られた皆さんにとって、不安と悩みを抱えつつも、加速度的に成長を遂げ、かけがえのない仲間と経験を得た4年間であったと思います。ただ、わずか4年の間にも社会は不透明さ複雑さを増し、国際情勢の緊張の高まり、頻発する災害・記録的猛暑、米騒動・物価高、生成AIはじめ新技術の普及、など大きな変化が次々に起こってきました。これから進む道に正解はなく、一人ひとりが不断の努力と挑戦を求められることでしょう。そこでは早稲田で応援部で培った力が皆さんを支える基礎になってくれるはずです。輝く未来に向けて、それぞれが心を込めて取り組み、活躍されることを祈念しています。



監督  
松島 一彦

体育各部の卒部生の皆さんが早稲田大学に入学された2022年は、まだコロナ禍の中で活動を余儀なくされ、その制約の中でも創工夫の上で研鑽を積み、日々試行錯誤しながら取り組み、復活に向けて努力されている姿が強く印象に残っております。そして皆さんのワセダを背負っての活躍により、本格的早稲田スポーツの復活を強く意識する4年間であったと実感します。その中で応援部も自身が輝くことを忘れず、皆さんと想いを共有しての応援活動を通じて、大いに貢献できたのではと思います。卒部生の皆さんにはこの成功体験を下に、社会での一層のご活躍を願っております。



リーダーコーチ  
山内 耕平

「強いリーダー」とは何か。本年度の4年生は、リーダー1名という体制の中で、3パートが互いの強さを持ち寄りながら応援部を牽引してくれました。日々の所作で周囲を導き、発声・姿・テクに心を込めて応援をつくり上げる姿は、まさに「強いリーダー」そのもの。一人一人の真摯な想いが観客を動かし、選手へ届く応援を形づくり、さらにより良い組織をつくろうとした4年生の背中には、部の年間目標「心」とリーダー年間目標「集え強者」を体現していました。応援部を全うしてくれた4年生の皆さん、本当にありがとうございます。応援部という「人間道場(厳しい環境の中で自己を磨き、人として成長できる場)」で学んだ経験は、必ず実社会でも再現できると信じています。



吹奏楽団 コーチ  
中川 友 萌 子

ご卒業おめでとうございます。そして吹奏楽団の皆さんにおいては、初の都大会を経験させてくれてありがとうございます。さて、卒業する皆さんがこのメッセージを見ている頃、どんな表情で、どんな事を思い浮かべているでしょうか。応援部時代が恋しい人、これまでは経験がないくらい休みの日が多くて過ごし方に困っている人、色々あるかもしれませんが、私は社会人になる時、未知の世界において自分の武器がなくてもとても不安でした。でも、そんな私の支えになったのは応援部時代の経験でした。皆さんは自分たちが思っている以上に、他の学生が体験できない貴重な経験が多々あります。だから、自信を持って! 希望を持って! また皆宮で会えることを楽しみにしています。



助監督  
泉 博之

卒部生の皆さん、ご卒業・ご卒業おめでとうございました。そして創部85年を祝える早稲田大学応援部の歴史のページを紡いできた令和7年度執行委員の皆さん、知性・情熱・行動力を発揮した四年間の努力、早稲田大学の充実・発展のために献身した活躍に敬意を表します。皆さんは早大生として多様な学生生活を送ることができ、応援部員としての道を選び、その活動を全うされました。神宮球場をはじめ様々な競技場やステージでの思い出は、今後の皆さんの人生に大いに彩を与えてくれることでしょう。そしてこれからは実社会の指導者たちとして研鑽を積んで経験を人生の土台として、これからの社会人生活をより有意義なものへと昇華させていってください。



吹奏楽団 コーチ  
根 岸 孝

本年の応援部吹奏楽団は「輝」をテーマに掲げ活動しました。長年目指していた東京都大学吹奏楽コンクール金賞をはじめ、各種演奏会の成功、有名アーティストとのコラボ等、皆さんの成果は1年を通して輝かしいものとなりました。輝く為には磨くことを怠らなかつた努力の賜物であったと思います。これから皆さんは卒部し、社会へ活躍の場を移します。応援部で学んだ仲間を「想」う気持ちを忘れず、目の前の人や事象に誠心誠意向き合う「心」があれば、応援部に「集った強者」である皆さんには「輝」かしい未来があると信じています。卒部おめでとうございます。ここから「勝つよ! 」



チアリーダース  
コーチ  
鯨 井 雅 子

【心】令和7年度の皆さんの一年を語るうえで、この言葉はどふさわしいものはありません。3パートが互いを尊重し、支え合い、寄り添いながら応援やステージをつくりあげてきた姿は、本当に美しく誇らしいものでした。思うようにいかない日もあったはずですが、それでも仲間を想う心で立て直してきた経験は、何よりの宝物です。これからの道も順風ばかりではないでしょう。しかし、この応援部生活で育てたあたたかい心があれば、どんな困難もきつと越えていけます。ご卒業おめでとうございます。新たな道でも皆さんらしく輝き続けてください。



チアリーダース  
コーチ  
太 田 真 織

2年間ありがとうございました! 個性豊かな4年生の「心」が詰まった応援に、笑顔とワクワクを貰いました。今年度のチアリーダースは、4年生による変革の年でした。一人一人が早稲田や仲間を想い、自ら考え行動する姿がまわりを動かし、チーム全体一つにしました。秘めた情熱と強い責任感のもと19人が残した「想」は、未来の応援部・BIG BEARSの礎になったと確信しています。様々な困難にも真っ直ぐ向き合い、3パート一体となり駆け抜けた令和7年度に、感謝とリスペクトを送ります。応援部の4年間で培った真のリーダーシップを糧に、次のステージでも自分らしく輝いてください! 応援してください。ご卒業おめでとうございます!



吹奏楽団 責任者  
比 嘉 風 沙  
法学部  
(県立)相模原中等教育

吹奏楽団を探し求め、辿り着いたのが応援部でした。しかし「応援部吹奏楽団」というアイデンティティは複雑で、その価値に苦しみだ記憶も鮮明です。それでも今年、吹奏楽コンクールで30年振りの金賞・都大会出場という快挙を成し遂げたのは、人と人を繋ぐ音楽の力を信じてきたから、そして4年間苦業を共にした仲間の存在があったからでした。音楽の追求が、応援したい誰かを「輝」かせるエールとなり、多くの人の心に響くこの場所が大好きだと、今は胸を張って言えます。気軽には会えなくなっても、この場所に出会った感謝に生かされる自分はきっと居ると思います。たくさん愛を感じられた、幸せな4年間でした。ありがとうございます。



主 将  
豊 島 悠  
教育学部  
桐蔭学園

まずはこの応援部生活で私の事を支えてくださった皆様方、本当にありがとうございました。特に四年生の際は皆様を支えられ、諸活動に励む事が出来ました。いつも姿で見え支えてくださったリーダース級生の方々、厳しい練習に嗔りいつく下級生、自身のパートがあるにもかかわらず、リーダースの事に目を向けてくれた同期、一緒に応援を作ってくれた下級生、皆様のおかげで充実した学生生活を送る事が出来ました。本当にありがとうございました。今後応援部で培った精神を忘れず、人と人との繋がりを大切に頑張ってください。



チアリーダース 責任者  
松 尾 尊  
政治経済学部  
東京インターハイスクール

本年度チアリーダースでは「想」をチーム目標に掲げ活動して参りました。また、私もこの4年間で意識してきたのは、「誰かのために全力を尽くす」ことでした。選手を想う。観客の皆様を想う。隣で踊る仲間を想う。その想いを応援に乗せて、素晴らしい経験を数え切れない程させていただきました。厳しく導いてくださった先輩方、ついてきてくれた下級生、そして共に想いを共有した同期、誰かを想い、全力を尽くした日々が私の宝です。この「想」う気持ちを、後輩たちがさらに強く受け継ぎ、早稲田の応援を高めてくださいと信じております。応援部を支えてくださった全ての皆様に、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



主 務  
白 井 綾 乃  
法学部  
淑徳与野

4年間、早稲田大学体育各部署を応援させていたけに、心より感謝申し上げます。全力で競技に向き合う選手の方々は、私たち応援部の大きな励みであり、原動力でした。皆様のおかげで、数多くの素晴らしい感動の瞬間に立ち会い、最高の景色を見ることができました。温かくご指導くださった先輩方、苦業を共にした同期、どんな時も支えてくれた後輩たちの存在があったからこそ、4年間、悔いなく過ごすことができました。誰かを支える力になりたいと願い、駆け抜けた時間は、私の一生の宝物です。これからも応援部が、皆様の想いに寄り添い、力になれる存在であってほしいと心から願っています。4年間、本当にありがとうございました。



## 本年度試合戦績 成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

### ◇令和7年度東京六大学野球春季リーグ戦

(4月12日~6月4日)

#### 優勝

- ▷東京大学(○4-1, ○13-3)
- ▷法政大学(○11-0, ●5-7, ○7-2)
- ▷立教大学(●4-5, ○3-0, ●10-11)
- ▷明治大学(●0-3, ○1-0, ○8-6)
- ▷慶應義塾大学(○11-2, ○6-5)
- ▷優勝決定戦:明治大学(○6-5)

### ◇第94回早慶対校競漕大会 (4月13日)

#### 完全優勝

### ◇第74回全日本大学野球選手権大会 (6月10日~13日)

#### ベスト8

- ▷第1回戦:東亜大学(○12-2)
- ▷第2回戦:東海大学(●3-12)

### ◇令和7年度東京都大学吹奏楽コンクール(予選) (8月16日)

#### 金賞・代表

### ◇USAチアリーディング&ダンス 学生新人大会 2025 EAST (8月20日)

Braves: 第1位

### ◇USAチアリーディング&ダンス

#### 学生選手権大会 2025 EAST (8月21日)

- Elites: Advance第2位
- Maroons: Advance第7位
- Glitters: Novice第1位
- ◇第38回東京都マーチングコンテスト (8月30日)
- 優良賞
- ◇令和7年度東京六大学野球秋季リーグ戦

(9月13日~11月2日)

#### 第2位

- ▷東京大学(○6-3, ○3-1)
- ▷立教大学(●0-1, ○8-4, ○3-2)
- ▷法政大学(●4-5, ○15-10, ●6-8)
- ▷明治大学(●2-9, ●0-1)
- ▷慶應義塾大学(○5-3, ○3-0)

### ◇第65回東京都吹奏楽コンクール(大学の部) (9月21日)

#### 銅賞